



町の主要施策について説明を受ける自治会長の皆さん

町と地域の連携確認 行政連絡会議を開催

行政連絡会議と自治会連合会の総会が4月30日、総合センターで開催されました。

行政連絡会議では、觸澤義美副町長が「地域の実情を最もよく知る自治会長の皆さんに行政と共通の認識を持っていただき、地域づくりに共に取り組みたい」とあいさつし、職員が本年度の町の主要施策について説明しました。

また、引き続き行われた自治会連合会の総会では八木寛一さん(下町)が会長に再任され、自治会間の情報共有を図りながらコロナ禍の地域活動に取り組むことを確認しました。

空き家活用進む 所有者に奨励金

5月10日、空き家活用奨励金の交付式が町長室で行われ、上路和子さん(田代)と熊谷アサ子さん(新町)が交付を受けました。

同奨励金は、空き家バンクに登録した物件を町で暮らす方に提供した場合に交付されているもので、2人はそれぞれ町内に所有する空き家を希望する住民に提供しました。

鈴木重男町長は「空き家を快く提供いただき、定住したい方が安心して暮らせるよう協力いただき感謝します。今後も空き家活用の情報を発信していただきたい」と述べました。



奨励金の交付を受ける上路さん(右から2番目)と熊谷さん(右)

自衛官の確保を図る 相談員に3人委嘱

自衛官募集相談員委嘱状交付式が5月18日役場で行われ、元自衛官の前野嗣男さん(江刈)、山崎邦廣さん(小田)、自衛官を家族に持つ土谷典雄さん(元木)の3人が委嘱されました。

自衛官募集相談員は、地域で自衛官志望者に情報を提供したり、募集を支援する活動を行います。自衛隊岩手地方協力本部の武本康博本部長は、「本年度は葛巻高校から将来有望な生徒2人を採用し、それぞれの現場で研修や業務に励んでもらっている。今後も続けて優れた人材を輩出してほしい」と期待を込めていました。



自衛官募集相談員に委嘱された、(左から)山崎邦廣さん、土谷典雄さん、前野嗣男さん



フェア会場で買い物客をもてなすミルンちゃん

町の特産品の魅力届け 盛岡でくずまきフェア

4月23日から26日、盛岡市のアネックスカワトクで「くずまきフェア」が開催され、多くの買い物客でにぎわいました。

この催しは、コロナ禍で消費が低迷する町の特産品の販売促進と「くずまきファン」拡大のため、町と関係事業者が共同で開催したものです。フェアでは、ワインや乳製品など町の特産品のほか、くずまき観光地域づくり協議会特産品検討部会が考案し、昨年度(株)やどり木により商品化された「くずまきワインソルト」も販売され、来場者の注目を集めていました。

大容量手指消毒機 富士電業社が寄贈

4月26日、町の水道施設や電気設備の維持修繕などに関わっている、盛岡市の(株)富士電業社の佐々木文夫取締役営業推進本部長が町を訪れ、自動手指消毒機を寄贈しました。

寄贈された消毒機は5ℓの大容量消毒液タンク搭載で、センサーに手をかざすと自動で消毒液が噴出され、大勢が集まる場面で安全かつ速やかに手指の消毒が可能です。

鈴木重男町長は「町民の感染症予防対策に活用します」と感謝を述べました。消毒機は今後、コロナワクチン接種会場などで活用されます。



町長室で行われた消毒機の寄贈式

春の空に泳ぐ鯉のぼり 観光客らがGWを満喫

4月29日から5月9日、くずまき高原牧場で鯉のぼり鑑賞会が開催されました。

およそ100匹の色とりどりの鯉のぼりは、高原に吹く風にゆったりと泳ぎ、観光客らはベンチに座ってのんびりと眺めたり、写真を撮影するなど思い思いに楽しんでいました。

また、動物ふれあいコーナーでは、親子連れがこの春生まれたウサギやヤギの赤ちゃんに触れ合ったり、芝生の上でシャボン玉やボール遊びをするなど、のどかな牧場の1日を満喫した様子でした。



色とりどりの鯉のぼりが泳ぐ様子を楽しむ観光客